

祭事暦

7月1日・20日 午前8時30分
 月次祭
 7月15日 午前8時30分
 浜降祭古式祭
 7月17日 午後8時
 浜降祭前夜祭
 7月18日 午前7時
 浜降祭(於南湖浜)
 7月19日 午前11時
 虫送り祭



発行所
 寒川神社社務所

〒253-0195
 神奈川県
 高座郡寒川町宮山3916
 電話 代表0467(75)0004

編集 水谷 智 賢
 責任者
 印刷所 樹さんこうどう



鎮守の森

早いもので本年も下半期の七月に入り、当神社では、この十八日(海の日)、神輿が茅ヶ崎海岸南湖の浜に渡御する、暁の祭典「浜降祭」が斎行される。この祭典が過ぎると当地方では例年夏本番を迎える。上半期の、三月十一日に起こった東日本大震災は、宮城県を中心に広範囲に亘り各地に甚大な被害を与え、伴って発生した大津波により、家々や町全体を消滅させる惨状となった。その後の福島第一発電所の放射能事故は、東北地方を始め、社会に一層の不安と恐怖を今も与え続けている。この災害の復旧にはまだまだ時間がかかると言われている。今日まで嘗々と築き上げてきたものの多くが一瞬にして消滅してしまった。被災された皆様は、初動から今日まで、一人ひとりが社会の中で、それぞれの分、役割、責任を果たすことによって生活が保たれるとの国柄を守り、厳しい環境の中力強く生活されていることは、大きな財産であり、代々に亘って培われてきた精神、粘り強さに心から敬服するものである。この国難にあたり、政治や経済、社会のそれぞれの分野では大きな岐路に立たされ、大いなる決断と果敢な実行が早急に求められている。一日も早く、平常の生活に戻ることを祈るばかりである。寒川町でも三月は計画停電が実施され、電気はもろろん、道路や通信、あるいは医療などに大きな支障をきたした。今回の大震災で私たちは、普段気づかぬ事がいかに多くの人々のおかげで維持されているかを思い知らされ、自然の力の大きさに脅威するとともに、大自然や人との関りの中で生き生かされていることを改めて痛感している。



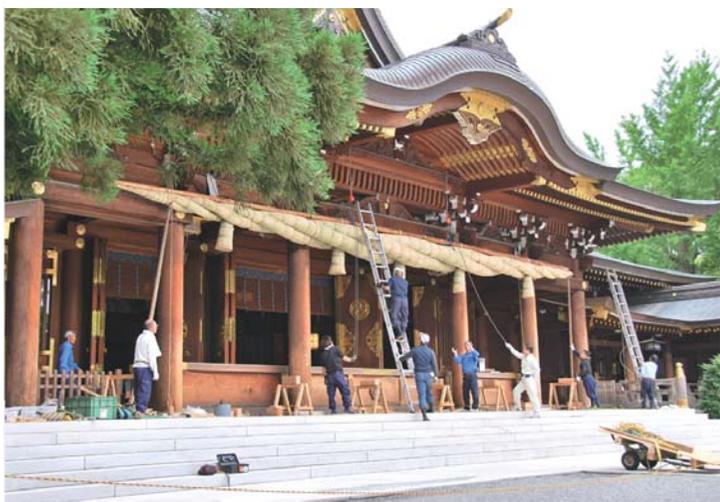
遷宮で結ぶ人の輪心の輪
 第六十二回神宮式年遷宮

◆ 向拝前大注連縄 掛け替えられる

六月十六日、時折小雨が降る梅雨空の下、三年ぶりに御本殿向拝前の注連縄が新しく掛け替えられました。今回の注連縄は、寒川神社職工奉仕会の会員である

(株)金子建材土木に依頼し、約一ヶ月をかけて奉製されました。

当日は注連縄をお被いした後、二十人ほどの人手により昇き上げましたが、長さ



さ十四・五メートル・重さは一トン程もあり、大粒の汗を流しての搬送となりました。掛け替え作業は順調に進み、新しく蘇った注連縄は、参拝の方々をより清々しい気持ちにさせ、尚一層引き締まる思いの中、お参り頂けることでしょう。



◆ 全総代会開催

去る六月一日、日頃より神社運営にご尽力を頂く寒川神社の総代により組織される「全総代会」が開催されました。

当日は、責任役員大川静男氏が議長に選出され、社務報告に続き、本年度一般会計及び特別会計の補正予算並びに次年度歳入歳出予算等につきまして詳細な報告がなされました。



◆ 浪速神楽講習会開催

祭典や団体参拝の折、御神前で奉奏される浪速神楽の講習会が、去る六月七日から九日にかけて、大阪の津守神社宮司今江隆道先生を講師にお招きし開催されました。

先生には舞と楽を懇切丁寧にご指導頂き、新人は基礎をしっかりと学べ、先輩はより洗練された神楽が奉奏出来るよう、真剣に取り組めた講習会でした。



◎浜降祭古式祭

七月十五日(金)
午前八時半

浜降祭は江戸時代から行われ、明治九年より毎年七月十五日に斎行されておりましたが、平成九年「海の日(七月第三月曜日)」に変更されました。
この由緒ある日を、後世へ伝えるため浜降祭古式祭を執行しております。

◎暁の祭典

浜降祭

七月十八日(月)

神奈川県無形民俗文化財に指定され、湘南地方に本格的な夏の到来を告げる暁の祭典「浜降祭」が海の日(七月第三月曜日)に斎行されます。
七月十八日(月)の早朝より御祭主寒川神社の神輿



今月の祭事

寒川神社 御神幸時間表

七月十八日(月) 海の日

午前	四時〇〇分	発輿祭
	四時三〇分	社頭発輿(神輿を車輿に奉安)
	五時三〇分	国道一三四号線西浜交差点(ここより昇輿)
	六時〇〇分	南湖浜祭場着御
	七時〇〇分	浜降祭祭典斎行 祭典終了後 祭場発輿
	八時〇〇分	国道一三四号線(神輿を車輿に奉安)
	九時一〇分	田端行在所供饌祭
	九時四五分	一之宮行在所供饌祭
	十時一五分	寒川神社御旅所祭
		社頭還幸

をはじめ、寒川町内や茅ヶ崎市内に鎮座する各神社の神輿約四十基が茅ヶ崎の南湖の浜に参集します。

本年は、去る三月に発生した東北地方太平洋沖地震の影響の為、浜までは車輛に神輿を奉安し渡御する他、寒川神社に町内四社の神輿は集結せず、待ち合わせて浜に向かふ。太鼓や掛け声・甚句・鳴り物は遠慮し、神輿が海に入る「襖」も往路のみで帰路は行わない等と自粛されます。
すべての神輿が着御した午前七時には、合同祭典が

行われ、国家安泰・五穀豊穡・大漁満足に併せ、東北地方の早期復興が祈願されます。

◎虫送り祭

七月十九日(火)
午前十一時

これから成育する農作物に害をもたらす病害虫を追い払い、天災にも見舞われず、稔り豊かな秋を迎えられるよう祈る祭事で、生産組合長参列のもと、豊作が祈念され、神札が農家の各戸に頒かたれます。

暑中お見舞

申し上げます

宗教法人寒川神社

責任役員

横溝 隆義 市川 元久
大川 静男 関根 晃

顧問

藤沢 賢一 伊藤 留治
小林 亮 山田 文夫
飯田 誠 根本 康明
河西 大吉 山上 貞夫

参事

青木 治三 高橋 春吉
金子 昭

総代理

金子 純男

副総代理

中島 啓介

総代理

小島 達人 渡部 孚
青木 澄雄 常盤 利貞
藤平 誠二 菅野 稔実
亀山 博 小菅 繁男
岡田 賢治 山田 実
高橋 三男 山崎 宗平
吉田 忠史 野村 知康
高橋 政雄 山崎 宗平



東北地方旧職員奉務神社 震災御見舞出向報告

過日、東日本を襲った大地震では当神社旧職員が奉仕する神社も甚大な被害を受けられました。その被害状況を把握するため現地に

赴く計画が震災直後よりありましたが、去る六月十日ようやく実現し、宮司以下四名の職員にて現地を訪れることができました。



鮎川港付近の様子



津波に流された金華山船着場



黄金山神社の境内

初日、金華山黄金山神社に向かう道の様子は、報道等で承知していたつもりでしたが、崩れた民家や傾いた工場、放置されたままの車や船、高く積まれたガレキの山をみるにつれ、何も考える事が出来なくなり言葉も捜せない有様でした。金華山には牡鹿半島の鮎川港より定期船が出ていましたが、震災により鮎川・金華山両港とも沈下し、港として機能していない為、今回は干潮時を見計らい、

小型モーターボートを賃切つて棧橋もない状態の中で渡らざるを得ませんでした。島に入ると、神社参道の坂道は所々崩れ落ちており、大変危険な状況にも拘わりませず、お迎え頂いた神社職員のトラツクの荷台に乗せて頂き、ようやく社務所に到着する事が出来ました。境内の様子を伺うと、御



崩れ落ちた大常夜燈

本殿・拝殿・神門は御無事でしたが、鳥居・灯笼・石垣等が倒壊している他、地殻変動により到る所でヒビ割れや段差が起きているのですが、毎日余震を感じる為、手が付けられずにおり、



奮闘努力されている黄金山神社職員の皆様と

三ヶ月を経た現在もその爪痕は大きく、今後も専門業者への依頼を要する作業や莫大な工事費を費やす作業が残り、未だ修復の目処が立たないとの事でした。
職員の皆様は交代で奉仕されておられますが、電話の復旧はされておらず、シャワーが使えるようになったのもつい最近とのことで、生活にも重大な支障をきたしているにも係らず、神社

再建の為、全員一致協力し、前向きに奮闘努力されている様子を伺いました。
翌日からは、仙台市内に鎮座する宮城県護国神社・愛宕神社、塩竈市に鎮座する塩竈神社、相馬市に鎮座する八坂神社にもお見舞に伺いました処、各神社とも灯籠等倒壊はあったものの津波の被害からは免れ、参拝者も少しずつ訪れるようになって来られているとの事でした。

わずか三日間の出向でしたが、黄金山神社のように御本殿等が無事であっても参拝の手段が絶たれてしまつた為、まったく先の見えないう神社も複数あり、宮城県神社庁を始め関係の方々も綿密に視察されている事は充



八坂神社 岩崎宮司様と



愛宕神社 名誉宮司様と

分に存じ上げておりますが、当神社と致しましても宮司以下職員一同、被災地の一刻も早い復興を祈念しつつ、今後出来る限りの支援を実施して参りたいと存じております。

■ 神社復興義捐金神奈川県神社庁へ納付

東日本大震災にて被災された神社の再建と復興を目的に集められました神社復興義損金を、去る五月二十三日、神奈川県神社庁に納付致しました。

この義損金は寒川神社を始め、当神社宮司が兼務宮司を務める兼務社八社、宮司代務者を務める相模原市の四社、又、寒川神社の神職、寒川神社商工奉賛会、

寒川神社職工奉仕会、宮山神興愛好会、寒川神社神一会の会員の皆様から集められたお金で、総額一三、四四八、六八二円にのぼり、この後は神社本庁を通じ被災神社に届けられます。

被災地の一刻も早い復興と、地域の心の拠り所であります神社の一日も早い再建を心より祈念申し上げます。

■ 東北地方太平洋沖地震義捐金募金御礼

三月十一日に発生した東北地方太平洋沖地震により、甚大なる被害をうけました被災地の復興に少しでも役立てて頂く為、ご社頭をはじめ、各施設に募金箱を設置し義捐金募金活動を実施させて頂いておりましたが、去る六月六日、五月九日から義損金二二三、七六二円を寒川町へ納付させて頂きました。

この活動は、五月末日をもちまして、一応の区切りとさせて頂き、今までに集まりました金額は、寒川神社又寒川神社各施設の職員の気持ちを含め、三、二九二、〇七五円となり、寒川町を通じて日本赤十字社へ届けられました。

ご協力を頂きました皆様にご報告と御礼を申し上げます。

第四十二回

さがみたきぎのう 相模薪能の案内

当神社では、先の大戦にて祖国の為に尊い命を捧げられた英霊への慰霊と恒久平和を祈り、薪能を毎年開催しております。終戦記念日の八月十五日に行われるこの『相模薪能』も、本年で四十二回目を迎えました。今回の演目は、左記の通りとなりますのでご案内致します。

演目 能 巴 観世 喜正ほか

狂言 樋の酒 野村 萬斎ほか

能 舍利 中森 貫太ほか

開催日

平成二十三年八月十五日(月) 午後五時半 開演予定

場所

寒川神社境内特設能舞台

申込方法

鑑賞御希望の方は往復ハガキに住所・氏名・年齢・電話番号を楷書で明記のうえ左記要項によりお申し込み下さい。七月一日以降の消印より有効。それ以前の消印、また、記入漏れがある場合は無効となりますのでご注意ください。先着千名。(一人一枚限りとし、電話での申し込みは受付けません。また入場者は中学生以上に限ります。)

申込先

〒253-0195 神奈川県高座郡寒川町宮山三九一六 寒川神社相模薪能係

お問合せ

電話 〇四六七(七五) 〇〇〇四

《往信》

表 253-0195 寒川神社 相模薪能係 裏 住所 氏名 年齢

《返信》

表 郵便番号 〇〇〇〇〇〇様 裏 裏面は記入なしでお申し込み下さい

鑑賞券の転売は固く禁止致します。

舍利



舍利(しゃり) 京都泉湧寺(江戸時代の代々の天皇の墓所のある名刹)に参詣した僧(舍利殿)一人の男も参る。そのうち一天俄かにかき曇り、男は堂に飛び込んで仏舎利を奪い、天井を蹴破つて消える。韋駄天がこれを追ひ、帝釈天らも足疾鬼の行手を塞ぎ、つい打ち伏せられて奪い返される。お釈迦様は火葬に附され、その骨はほんのかけらでも絶大な功德あるものとして信者の各々に捌けられた時、足疾鬼が歯を一本奪い、逃げるのを白昼夢に見るとい趣向です。

樋の酒



樋の酒(ひのさけ) 主人は留守中に召し使いが酒を盗み飲みするので、太郎冠者を軽物(絹布)蔵。次郎冠者を酒蔵に閉じこめ外出する。二人はやがて酒が飲みなくなるが、軽物蔵にいる太郎冠者は酒が飲めない。そこで蔵の間に桶を通し、酒を流して飲めるようにする。二人は別々の蔵で笑い、舞い、賑やかな酒盛りを始める。戻った主人は二人を叱り、追いかける。

巴



巴(ともえ) 木曾の僧、栗津で女から義仲戦死の地を教えられ、夜もすがら呻つていと、巴が在りし世の勇姿で現れ、義仲戦死の有様と思慕の情を仕方断に見せ、甲いを頼まれる。美女ながら巴は旭將軍木曾義仲の妾。美女ながら強弓精兵。常にひとかたの将として功あつたが、女連れの討死には恥と追い返された。共に死ぬことのかなわなかつた女武者の執心が、寂しく印象的です。武者を主人公とする修羅物で唯一女性がシテの曲。



(完成予想図)

境内整備事業

「太鼓橋改築」工事奉賛者芳名

左記の方々より赤誠溢れるご奉賛を賜りました。誌上より厚く御礼申し上げます。

【平成二十三年五月奉賛者】

(順不同・敬称略)

百万円

井上 裕之

一万円

蛭子 能収

五十万円

井上家一同

蛭子 悠加

三十万円

熊切 義和

大橋 正子

十万円

(有)国設備機工

廣田 拓夫

十万円

北村工務店

藤井喜代治

十万円

寒川神社職工奉仕会

伊澤 英一

十万円

寒川町宮山

上村 憲裕

十万円

寒川町品川

上村 雅英

十万円

(有)古山看板塗装

中島 秀彰

十万円

寒川町田端

鈴木 茂樹

十万円

前田 妙真

高橋 貴志

十万円

片山 正作

島津 淳彦

十万円

(有)壁島工務店

村山 博一

十万円

飯扶桑

中村 隆雄

十万円

飯野 誠

井上 宏

十万円

鈴木 雅朗

塚田弥与以

十万円

原 宏治

吉澤 豊

十万円

原 義一

大柿 康幸

十万円

多田 武

醍醐てる子

十万円

相模原商事(株)

武石加代子

十万円

種市 良弘

鈴木ユキ子

十万円

杉岡 督夫

本橋 ミイ

十万円

(有)橋自動車工業所

池田 淑子

十万円

中山 浩光

山野 井壽美

十万円

栗山 勇

塚田 愛子

十万円

原 仁志

塩澤 芳規

十万円

山崎 仁志

塩澤 芳江

十万円

原 克彦

塩澤 えり

眞家 歩
東京八王子市
東京都中央区

塩澤 えり
福澤 芳江
塩澤 友子
塚田 愛子
山野 井壽美
池田 淑子
本橋 ミイ
鈴木ユキ子
武石加代子
醍醐てる子
大柿 康幸
吉澤 豊
塚田弥与以
井上 宏
中村 隆雄
村山 博一
島津 淳彦
高橋 貴志
鈴木 茂樹
中島 秀彰
上村 雅英
上村 憲裕
伊澤 英一
藤井喜代治
廣田 拓夫
大橋 正子
蛭子 悠加
蛭子 能収

お知らせ

太鼓橋名称募集

現在、改築工事を進めております「太鼓橋」の名称を、広く皆様より募集いたしております。

《募集要項》

- 一、方法 葉書にて一人一点。住所・氏名 年令・職業・電話番号を明記
- 一、締切 七月三十一日必着
- 一、宛先 千二五三・〇一九五 神奈川県高座郡寒川町宮山

寒川神社太鼓橋名称募集係へ 三九一六

* 発表は後日、本誌にて行います。

一万円	河合真知子	東京都世田谷区
"	齋藤 良一	川崎市中原区
"	保谷トメ子	東京都世田谷区
"	鈴木 留吉	寒川町一之宮
"	志澤 タメ	横浜市保土ヶ谷区
"	藤田 友吉	大和市林間
"	和田美代子	横浜市中区
"	石橋 三郎	東京都西東京市
"	登坂 光伸	千葉県千葉市
"	上谷 みち	東京都世田谷区
"	高見 孝三	横浜市旭区
"	遠山 典男	東京都豊島区
"	原 一智	茨城県神栖市
"	山口 弘行	茨城県神栖市
"	山口 博	茨城県稲敷郡
"	小樽 進	東京都府中市
"	狩野 住方	千葉県長生郡
"	木村 哲雄	寒川町小谷
"	(有)岩崎商店	東京都西東京市

太鼓橋改築並びに周辺整備工事

本年二月の着工以来、お陰をもちまして本工事は順調に進捗し、ほぼ中盤を迎えております。三月中旬の既存太鼓橋の解体工事を皮切りに、平橋・水路の解体工事を経て、五月中旬より躯体工事に着手し、六月中旬には新しい太鼓橋・平橋の形が見えてまいりました。

このような状況を踏まえ、六月二十日に第三回目となる建設委員会が開催されました。施工



完成予想図

者である竹中工務店より工事の経過説明を受けた後、現地にて施工の状況を確認いたしました。今後は、太鼓橋・平橋の工事に加え神池や玉垣の工事も山場に入っております。

引き続き、左記工事期間中は、近隣在住の皆様、ご参拝の皆様には何かとご不便・ご迷惑をおかけ致すとは存じますが、何卒趣意ご理解の上、ご協力賜りますようお願い申し上げます。

〔工事概要〕

設計・施工 ㈱竹中工務店横浜支店

工期 着工 平成二十三年二月二十日

竣工 平成二十三年十二月二十日
(予定)

〔工事内容〕

太鼓橋・平橋の改築

白御影石貼りで、麗しく清々しく仕上げると共に、足元の不安なく安心して渡れるよう、また、祭事が恙なく執り行われるよう橋幅を広げ、太鼓橋の勾配を緩やかにします。

神池と苑路の改修

池底の改修と合わせ、神池周辺の植栽を見直し、池縁の苑路の一部に親水域を設けます。夜間の安全のため苑路灯を新設します。

第一駐車場からの参拝路新設

第一駐車場から太鼓橋を経由して参道まで安全な参拝路を新設します。

神域西側玉垣の改築

白御影石の玉垣に改築します。

宮山神社太鼓橋の改築

橋幅を広げ、白御影石貼りで仕上げます。

納札殿の新築について

この度の太鼓橋改築工事に併せて、ご参拝の皆様からご返納いただいております神札・お守りをお受けするに相応しい、納札殿の新築を計画いたしております。

清々しくかつ流麗な建物となるよう検討を重ね、本年八月頃の工事着手を予定しております。



完成予想図

相模國式内社の会

式内社講演会を開催



相模國式内社の会では、ご奉仕頂いている神社役員総代の皆様に、自分の勤める神社が式内社という由緒深い処である事をより理解して頂き、今後の維持運営の賛助となればと講演会を企画し、去る六月十七日に寒川神社参集殿に於いて開催致しました。

当日は、約百十名程の参加があり、寒川神社にて正式参拝の後、講師に國學院大學人間開発学部准教授藤田大誠先生をお招きし、式内社の近現代「伝統的「公共空間」としての古社との演題にて講演賜りました。藤田先生は、先ず近代以前の社格に関しての歴史を述べられ、神仏習合・神仏分離について、神と仏は必ずしも同一ではなく、それぞれ持続的独自性を持ち相互補完的に習合されており分離についても比較的混乱なく進んだ事、国家神道下の神社は優遇を受けたイメー



ジがあるが、実際は優遇は受ける事が無いに等しかった事を資料を基に説明され、歴史的神社は聖域以外は広場化されており、集会場の併設等公共的価値が高い空間として利用されている事をより深めて行く事が必要であると説かれました。そして、その活動の実践について比々多神社の永井宮司様より説明があり、盛会のうちに終える事ができました。

出雲大社 防府天満宮 宮司参拝される



去る五月二十六日、神話の故郷と言われる島根県出雲市に鎮座し、縁結びの神様として名高い出雲大社の宮司千家尊祐様ご夫妻が当神社をご参拝され、多田名譽宮司の案内にて神嶽山神苑と方徳資料館を見学されました。また、六月七日には、山口県防府市に鎮座し、日本三大大神の一社と称される防府天満宮の宮司鈴木



宏明様が来社され、正式参拝をなされました。



BS 寒川第二団

恒例 田植え大作戦

六月十九日、恒例の田植えを実施致しました。

米は日本人の主食・神様から頂いた貴重な食料と常に学んでいるスカウト達にローバー(大学生)・ベンチャー(高校生)も加わっているので本年こそ大丈夫と思いきや、「オタマジャクシいた!」「サカナ・サカナ」と普段通り、トドメは恐怖の吸血魔「ビル」の



出現に大騒ぎとなっていました。しかし、予定通りに作業は進み、田植え大作戦はひとまず成功に終わりました。

426

健康手帳

スギ以外の花粉症

宗教法人 寒川神社 寒川病院

耳鼻咽喉科医長 大上麻由里



アレルギー性鼻炎は、くしゃみ、水様性鼻汁、鼻閉を主症状とする過敏性非感染性鼻炎（鼻過敏症）の一種で花粉など原因となる抗原がアレルギー検査でわかっているものをいいます。ハウスダスト（ほこり）、ダニなどが原因の場合は一年中症状が出る可能性がある一方で通年性アレルギー性鼻炎と呼ばれています。花粉症は種類によって飛散する季節が違っているので症状の出る時期が限られている季節性アレルギー性鼻炎です。

花粉症で最も有名なのはスギ花粉症で、2008年の調査では約26%の方がスギ花粉症と報告されています。花粉症「スギ花粉症と誤解されている方もまだ多いようですが、花粉症の原因はスギ花粉だけではなく、スギ以外の花粉症の原因には、ヒノキなどの樹木花粉やその他雑草花粉があります。雑草花粉では春から夏にかけて飛散するカモガヤなどのイネ科の雑草と秋に多いブタクサやヨモギなどのキク科の雑草が多いようです。スギ花粉は関東では4月中旬には飛散が減ってきますが鼻症状などが5月に入っても続く場合はヒノキ花粉症やイネ科の雑草花粉症も考えられます。雑草花粉は樹木花粉よりも小さいため、鼻症状のみでなくのどの症状（のどのいが

いが感、咳など）も引き起こしやすいと考えられています。対策はスギ花粉症と同様でできるだけ抗原を回避、除去することが大切です。マスクやめがねを着用し、室内に持ち込まない様に工夫することやこまめな清掃が効果的です。ストレス疲労を溜めない様に体調管理することも症状を軽減させる効果があります。薬物によらない治療法として局所温熱療法（蒸しタオル、蒸気吸入など）や入浴も、花粉を落とすだけでなく鼻粘膜の血流を良くし鼻閉の改善に効果があります。症状のコントロールが悪い場合は薬物投与など耳鼻咽喉科で相談されると良いでしょう。



人事

◆退職

△寒川病院△

看護師

小林菜穂子

願いに依り職を免ずる

平成二十三年六月三十日

△神恵苑△

介護福祉士

能上 桂子

願いに依り職を免ずる

平成二十三年六月三十日

◆新採用

△神恵苑△

介護福祉士

赤城比呂子

介護福祉士

迫 明美

神恵苑勤務を命ずる

平成二十三年七月一日

介護福祉士 入澤奈々美
願いに依り職を免ずる
平成二十三年六月三十日

医療講演会のご案内

とき 7月21日(木) 午後2時～3時

ところ 寒川神社 参集殿

内容 「元気で長生きするために」

講師 総看護師長 安藤 るり子

入場無料 申込不要
ご来場をお待ちしております。

0467-75-6680
寒川病院

神前結婚式ご案内



7月31日(日)
午前10時より午後5時迄

ご婚礼料理試食会あり
有料・午後5時開始(要予約)

寒川神社参集殿

ご予約・お問い合わせは

0467-75-5555

冬川俳壇

あんな実が成ると思えぬ栗の花
対岸の灯のとびとびや霞雀

田植えして大地に命託しけり
あぢさゐや山から海へ抜ける道

一人来てまた一人来て鮎の宿
いつか咲きいつか散りたる柿の花

留守にして仏壇灯る田植どき
六角の鉛筆削る螢の灯

父祖の地の四角三角棚田植う
口笛のように鳴く鳥山法師

水面より雨降りだしぬ田植すむ
公園のベンチ先客蝸牛かたつむり

あぢさゐや今も水車の米どころ
鮎舟に仁王立ちして投網打つ

風鈴の音色ばかりの陶器市
待つ人のなき鍵穴へ夏至灯りあか

梅雨寒や政治家達は茶番劇
植え終えし早苗の育つ速さかな

カラフルな雨具出揃う七変化
ぼやけたる張子の虎や梅雨じめり



- 皆川志んご
- 相原 白路
- 松本美智子
- 山本 朝子
- 倉谷 節子
- 菅沼 保幸
- 露木てる子
- 根岸 君子
- 飛石 槿花
- 四ツ車梢月
- 金子 つち
- 伊藤 公一
- 芹沢 徳光
- 岡田風呂釜
- 菅沼うめの
- 宮入 つる
- 三輪 恭子
- 竹村真砂美
- 原野 楽天
- 千葉 静香

七月 手水舎奉掲

明治天皇御製

みしめなは あらはれそめて ほのぼのと
明けはなれゆく 神の麩もち之前

相模詠草

フラフープ子供達よりプレゼント朝晩腰ふりはやくスマートに

裏庭の草抜くことも楽しけり澄みてひびける鶯の声

枝いっぱい花みずきたおやかな花の枝揺るる蝶舞あつように

訪れて飴を差しあげ会話弾む一粒の飴光輝く

安全な筈が想定外と流されし津波の猛威に只々慟哭

福島原発事故は驕る者奢れる者への天罰と知る

薫風に揺れる若葉の輝きに心癒やされ歌一首成る

夜の帳つつがなく降り満月の雫こぼして吾が町わたる

まな板の上のみどりの新キャベツ切ればパリッとおいしい音する

人ら皆明るき顔に大地震の避難所内に嬰兒泣く声

ためらはず拭いてしまをふガラス戸の小さな手のあと口唇のあと

卒寿吾へ曾孫五歳のメッセージ四つ葉のクローバー書き添えらるる

避難所で渡されし花大切に左手に握り皇后さまは

縫ひ包みの置かれてをりし地藏さまに女子高生の手を合わせゆく



- 土屋トミ子
- 三留とく子
- 浜田 寿子
- 山口 幸子
- 山根喜美代
- 安藤 慧
- 川島恵美子
- 吉田マツ子
- 天利 春枝
- 岡元 芳子
- 堀江 照子
- 宇田川時子
- 龜山 文字
- 杉本 照世

表紙写真説明

編集後記

浜降祭祭典。今年東日
本復興も併せて祈願される。

夏ハテ解消の切り札、三
陸産若牡蠣。地元の業者は

“今年是全滅だが、いつか
必ず美味をお届けします。”
と、力強く約束してくれた。
早期復活を心より祈念！